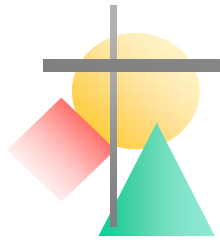


資料-4



**平成26年度
天塩川水系における魚類関連調査予定**

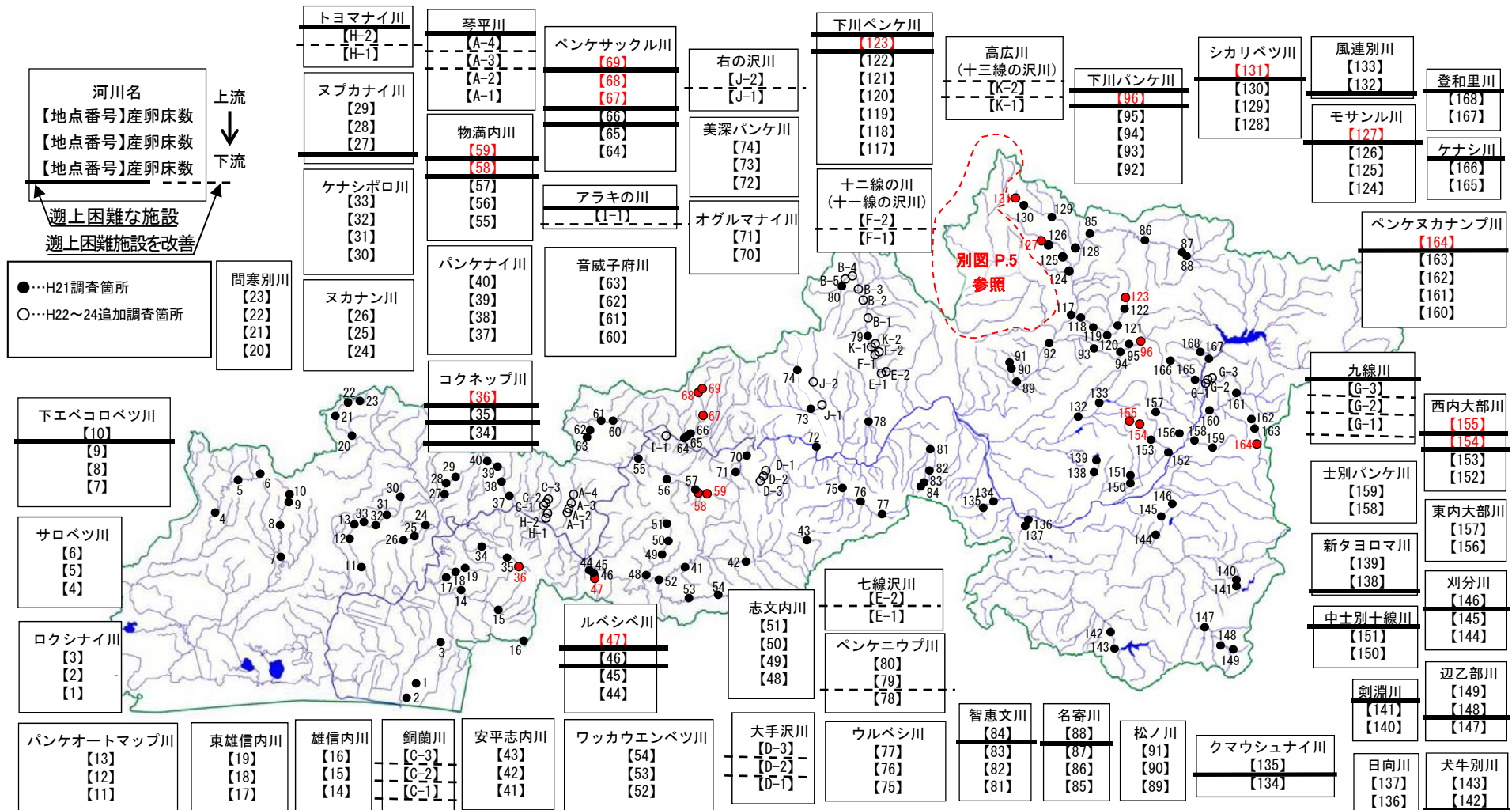
天塩川流域における平成26年度魚類関連調査予定 1

1. サクラマス幼魚生息密度調査

1) 調査概要： 天塩川水系の主要河川においてサクラマス幼魚の分布状況及び生息密度の把握を行うために、ショッカー及び投網によりサクラマス幼魚を採捕する。

2) 調査箇所、調査時期及び回数： 平成26年6月において1回実施（黒字箇所：55河川、158箇所）

なお、赤字箇所（10河川、14地点）については、遡上困難な施設（魚道未整備）の上流地点であり、過去複数年の調査において採捕されていないことから一時休止とし、施設改善後に調査を実施することとする。



2. サクラマス産卵床調査

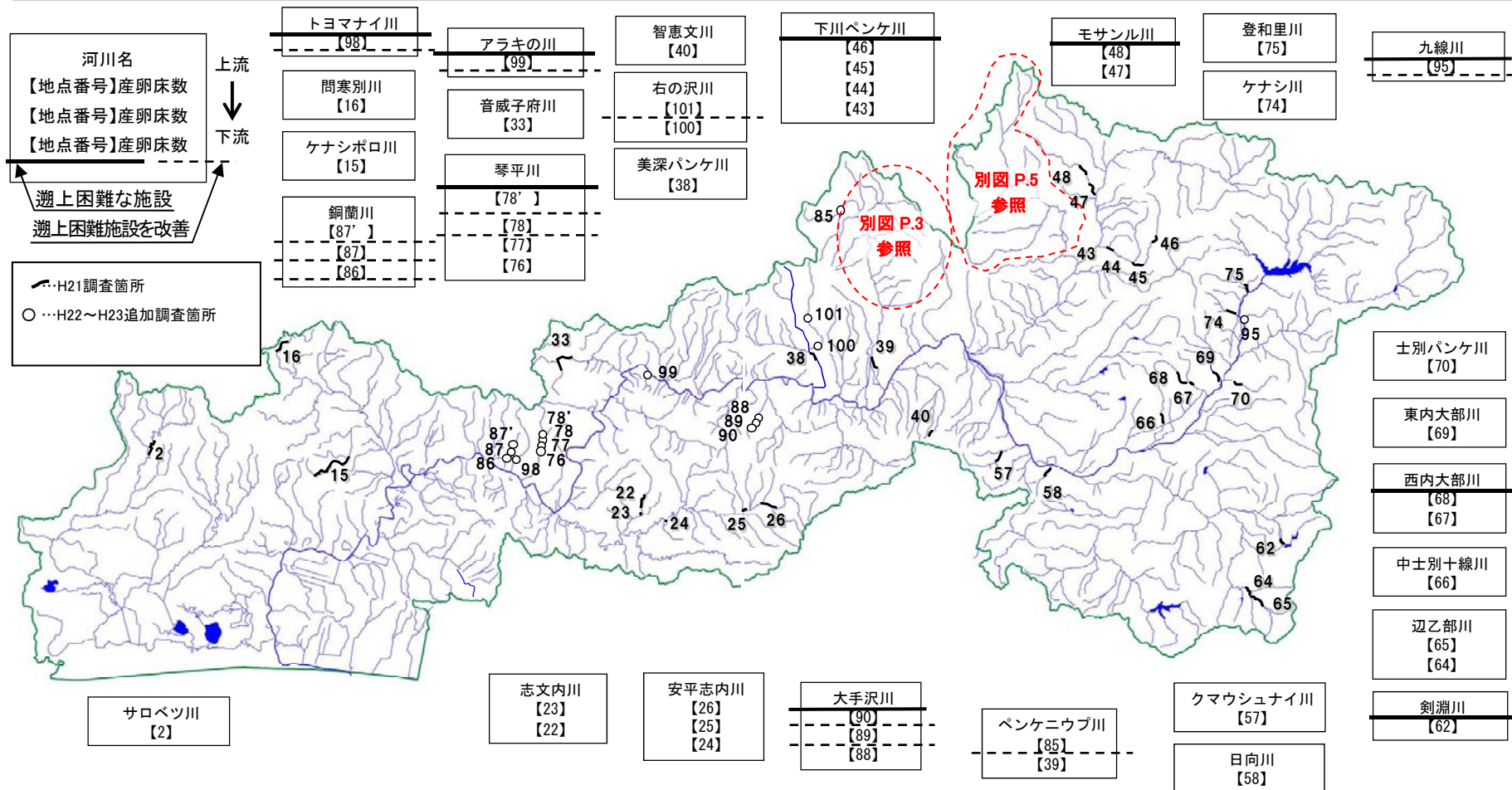
1) 調査概要

天塩川水系の主要河川において、河川内を踏査し、サクラマス産卵床の分布状況を把握する。

2) 調査箇所、調査時期及び回数

平成26年9月～10月に、平成25年調査河川※1において1回実施

※1 サンプル川本支流は別図 P.5 参照、
ペンケニウプ川は別図 P.3 参照。



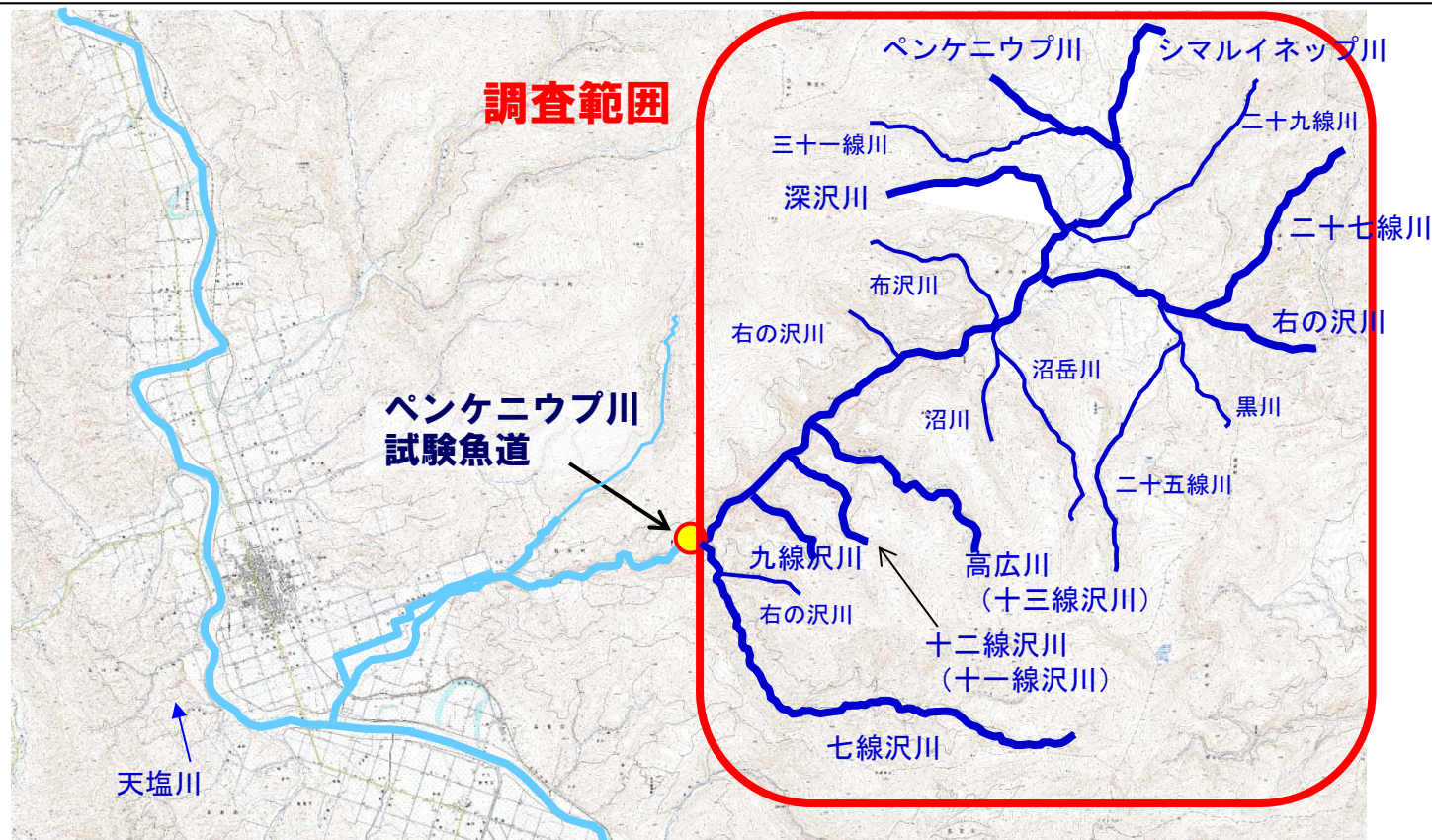
3. ペンケニウプ川取水堰試験魚道設置効果に関する調査

1) 調査概要

試験魚道の設置効果を確認するため、サクラマス産卵床の分布状況及び魚類生息確認等を調査し、魚類の生息環境の改善状況を把握する。

2) 調査箇所、調査時期及び回数

ペンケニウプ川及びその支川において、サクラマス産卵床及び魚類生息状況等、魚類の生息環境の改善状況を把握する調査を実施する。具体的な調査河川・区間、調査内容、調査時期は、専門家の指導を踏まえ、事前に現地河川状況（瀬・淵等）を調査し、決定する。



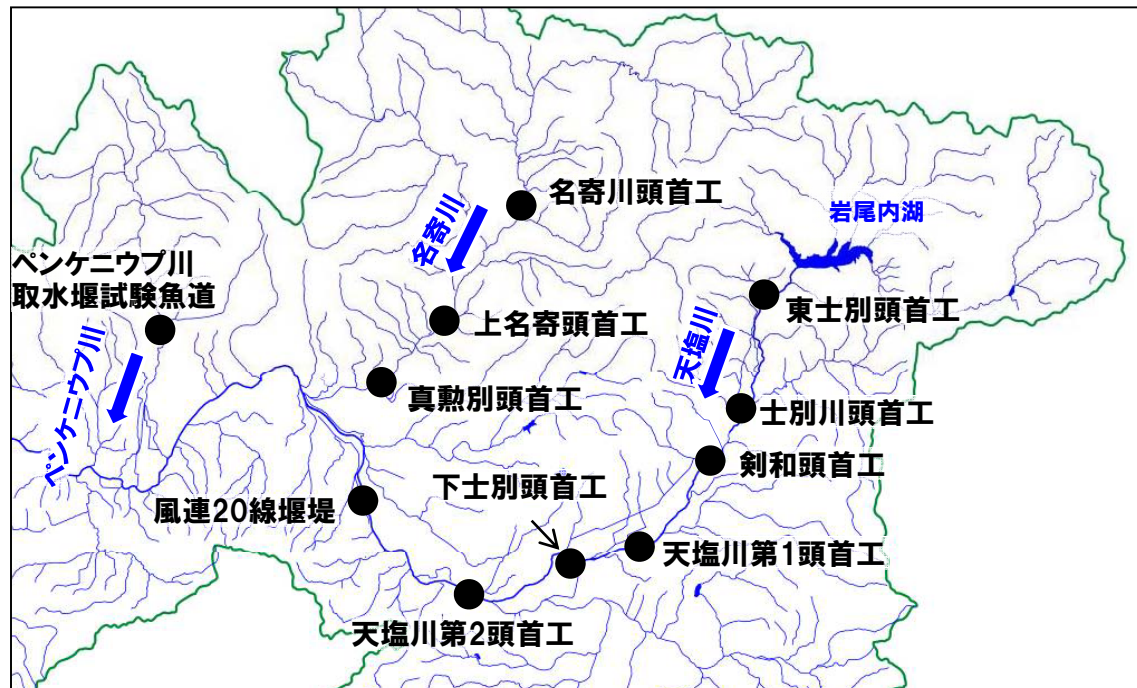
4. 天塩川上流頭首工、名寄川本川頭首工及びペンケニウプ川試験魚道における魚道トラップ調査

1) 調査概要

天塩川・名寄川に設置されている頭首工の魚道及びペンケニウプ川試験魚道において、トラップによる魚類捕獲調査を行い、魚道の設置効果、魚類の遡上状況を把握する。

2) 調査箇所、調査時期及び回数

- ・天塩川本川：平成25年度と同様に頭首工7箇所において、平成26年7月と8月の2回実施
- ・名寄川本川：頭首工3箇所において、平成26年8～9月に魚道通水状況等に合わせて複数回実施
- ・ペンケニウプ川：取水堰試験魚道において、平成26年8～9月に魚道通水状況等に合わせて複数回実施



● 調査箇所

1. サクラマス幼魚生息密度調査

1) 調査概要

サンル川本支流においてサクラマス幼魚の分布状況及び生息密度の把握を行うために、ショッカー及び投網によりサクラマス幼魚を採捕する。

2) 調査箇所、調査時期及び回数

平成25年と同様に、サンル川本川及び支流において平成26年6月に1回実施



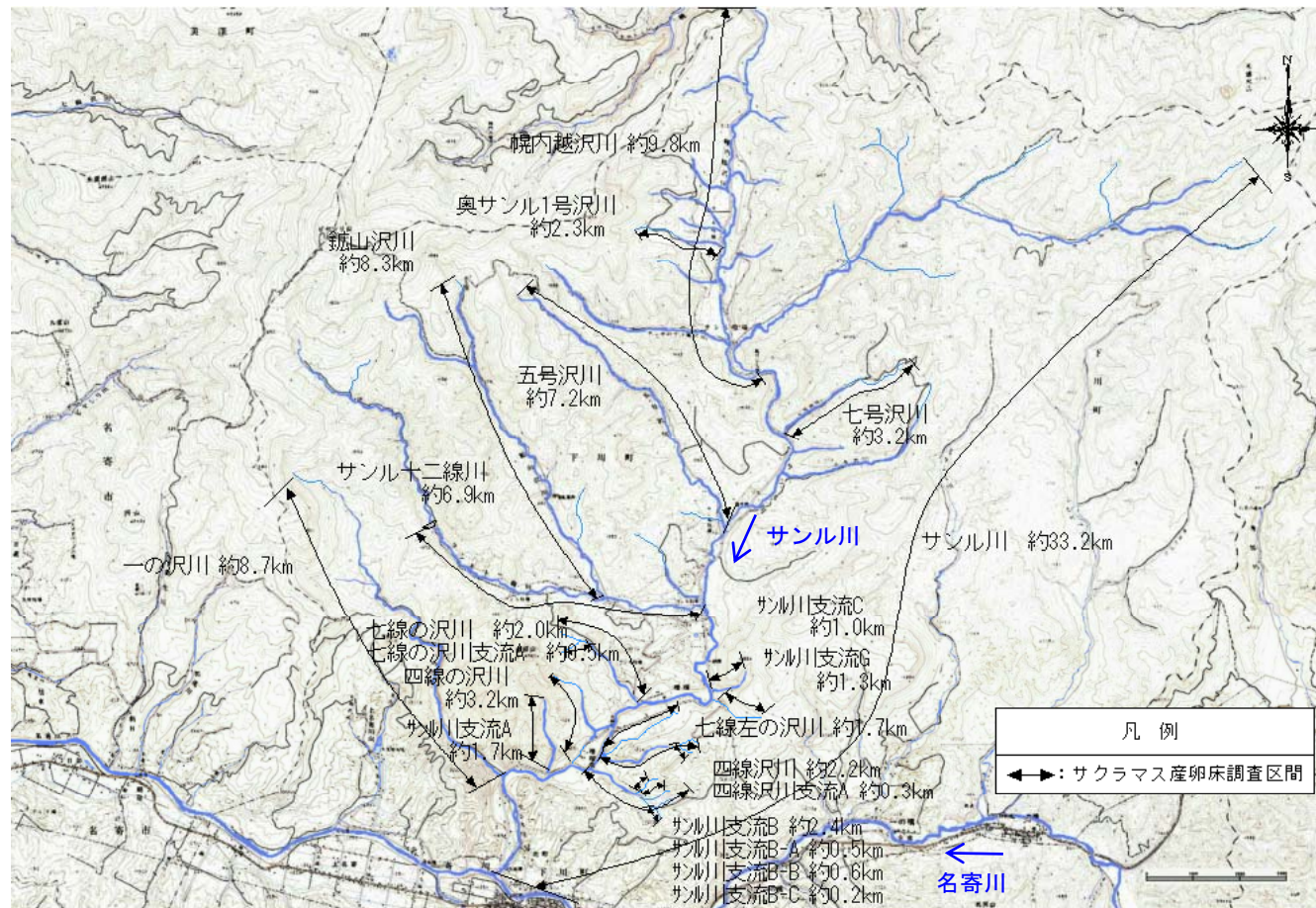
2. サクラマス産卵床調査

1) 調査概要

サンル川本支流においてに、河川内を踏査し、サクラマス産卵床の分布状況を把握する。

2) 調査箇所、調査時期及び回数

平成25年と同様にサンル川本川及び支流において、平成26年9月～10月に2回実施



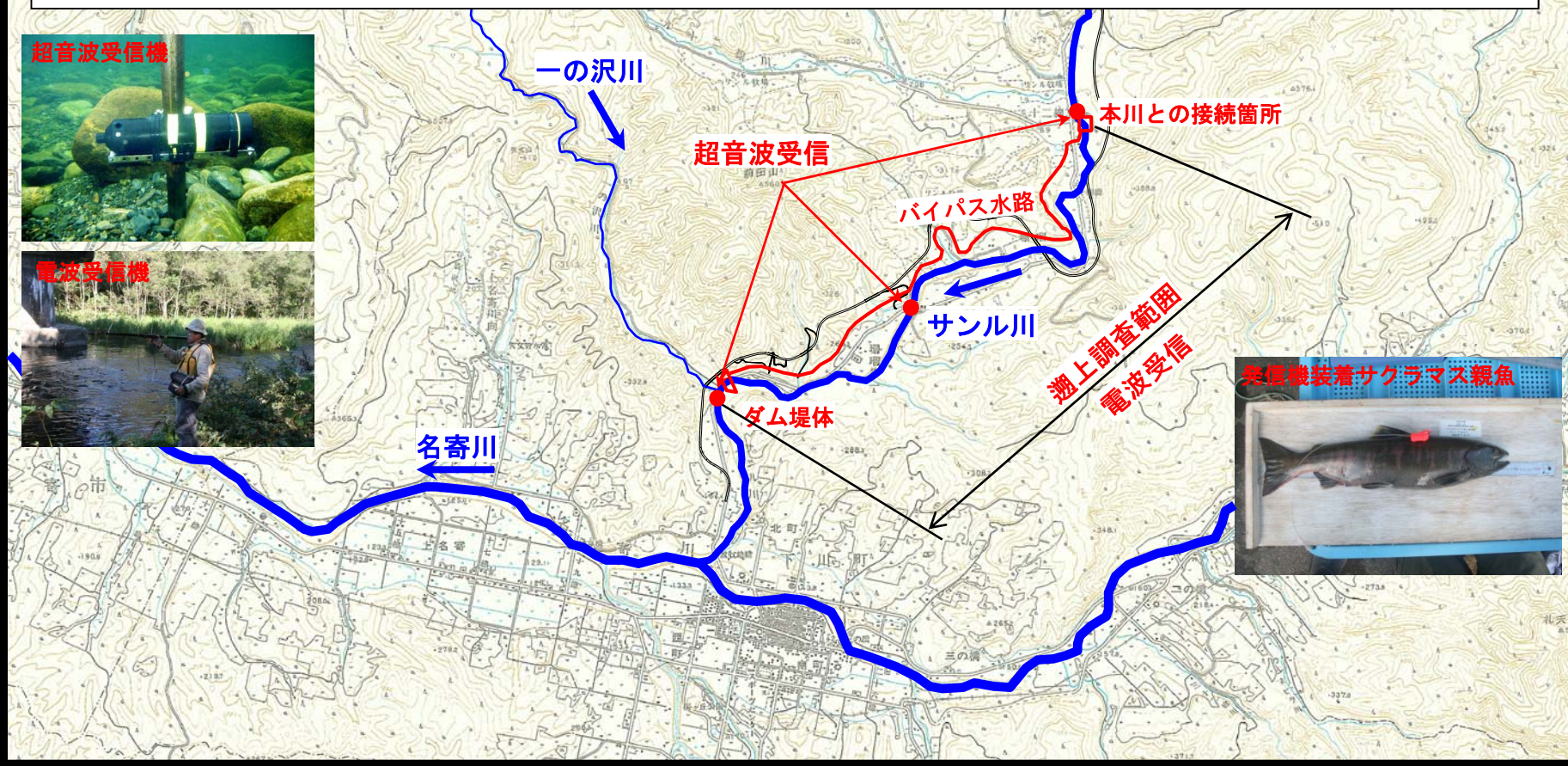
3. サンル川サクラマス遡上追跡調査

1) 調査概要

サンル川本川において、サクラマスの遡上行動、遡上速度等を把握するため、電波及び超音波発信機を装着したサクラマス親魚（雌魚）を放流し、受信機においてサクラマスの位置・時刻情報を調査する。

2) 調査箇所、調査時期及び回数

平成25年に引き続きサンル川本川において、水温、流況、成熟度等による遡上行動の変化を考慮し、産卵前期と後期に実施



3. カワシンジュガイ類調査

1) 調査概要

過年度までに移植したカワシンジュガイ類について、移植箇所における生態及び再生産状況を確認するため、生息状況、幼生放出状況等を確認する。

2) 調査箇所、調査時期

過年度移植箇所において、カワシンジュガイ類の幼生放出時期（5～7月）を考慮し、調査を実施。



幼生放出試験の実施状況



カワシンジュガイ類目視確認状況

4. カワシンジュガイ類移植

1) 移植概要

平成26年度サンルダム工事実施箇所において、カワシンジュガイの移植を行う。

2) 移植時期

カワシンジュガイ類の移植適期を踏まえ、影響を最小限とする移植時期、方法にて実施。具体的な移植時期、方法については専門家の指導を踏まえ、事前に生息状況を調査し決定する。



カワシンジュガイ類の採取状況



カワシンジュガイ類の移植状況